

『^{きゃっかしょこ}脚下照顧』 ～地域と仲間とクラブを知ろう～
【脚下＝足元】【照顧＝よく見る】

合計出席者数 33 名 (全 48 名) 出席率 68.75 %

第一部会	8月21日	厳島神社社務所	6名	菊地吉郎
第二部会	8月予定			草島守之
第三部会	8月17日	例会後	9名	福田紀幸
第四部会	8月8日	キャッスルH	8名、8月17日例会後	来夢9名

(次期会長選考委員)

目標 50 名まであと 2 名！

1. やむなく例会欠席予定を変更される方は部会長か事務局長への連絡をお願いします。
2. 次回例会は9月14日（木）です。（第三部会担当）

「今日は四部会の担当例会で、釧路市教育委員会総務部より宮古睦さんにお越し頂いております。先程伺いましたところ、宮古さんは教育委員会となっておりますが専門は建築設備だそうでそういった所から東日本大震災、熊本地震に派遣され貴重な経験を積んだ方です。今日は体験された事やその経験の中から地震の多い釧路に活かされる事などを聞かせて頂けるものと期待しております。宮古さんよろしくお願い致します。」

当たり前であり続ける事である

- 家の中が当たり前に暖かい
- 当たり前にお湯が出る
- 当たり前に排水できる

（自身の業務）	（組織の形態）
応急仮設住宅建設	北海道単独チーム
半壊判定の応急修理	役所・病院市民・業者職人など多様な立場

- 当たり前であると思っていたことは当たり前ではなかった！
- インフラの被害・・・信じてきた事（基準）を全て否定された感覚
- 目に見えないが災害の規模が大きければ大きいほど人と人との繋がりは強固となる

- 理想的な見えない社会資本
- 熊本市役所市民病院他都市市民業者職人中期滞在することで知り合った
飲食店や宿舎の方被災した方等々多様な方との出会い繋がり

地域の中で見えない社会資本が熟成されると、
いざという時に相互扶助の精神と災害対応力が高まる

メリット → 運用費用がかからない
デメリット → 時間や記憶の風化に弱い

- 行政と民間そして住民の垣根を取り払った交流が必要
- 他地域との日頃よりの技術交流や業務交流の実施が必要
釧路へ観光や遊びに来てもらう事で、いざという時の為の（地域の気候・地形・地名等ある程度の情報を持っている）優秀な技術者や公務員看護師などの強力なサポーターを全国にストック出来る



釧路あすなろクラブ 9月例会のご案内

■例会内容■

『就労支援の現状とキャリアコンサルティングについて』
～「人づくり」「地域づくり」をテーマにした事業展開で帰ってきたい街をつくりたい！～

担当：第三部会

講師：森崎 三記子氏（株）MOKA. 代表取締役）

■開催場所■ 釧路センチュリーキャッスルホテル

■日 時■ 平成29年9月14日（木曜日）
 例会 午後6時30分～

■出欠連絡■ 締め切り 9月8日(金) 必着

★出欠に○を付け、各部長さんへFAXお願いいたします。

氏名

9 月例会 出席 ・ 欠席
食 事 有 ・ 無

■ 各部会長のFAX番号■

一部会	清水尚也	64-1960	二部会	佐々木拓哉	52-3986
三部会	河村浩道	55-5110	四部会	前田俊明	24-9538

■やむなく例会出欠予定を変更される方は部会長か事務局長へ連絡をお願い致します。

■例会には「バッジ」を必ず持参ください。

■次回例会：10月14、15日は宿泊例会の予定です。

釧路あすなろクラブ事務局 事務局長 猪俣 利之 (㈲イノマタ通信)
〒085-0058 釧路市愛国東 1-20-2 TEL090-1640-2139 Fax0154-35-7156
E-mail ino-617@khaki.plala.or.jp

〒085-0058 釧路市愛国東1-20-2 TEL090-1640-2139 Fax0154-35-7156

E-mail ino-617@khaki.plala.or.jp